

生駒市ごみ減量市民会議
活動報告書

(活動期間：平成28年7月～令和元年7月)

生駒市ごみ減量市民会議

令和元年7月 日

目 次

I. 生駒市ごみ減量市民会議の設置	1
II. 設置の趣旨	1
III. 参加者	1
IV. 生駒市ごみ減量市民会議活動内容	2
①市民意識の把握	2
②自治会単位の懇談会の実施	4
③有料化の成果についてのPR	6
④生ごみの減量	6
(1) 食品ロス削減に関する啓発活動	6
(2) エコクッキング開催	6
(3) フードドライブ実施	7
(4) ゼロ・ウェイスト宣言自治体視察（斑鳩町）	7
⑤キエーロの普及	8
⑥資源ごみの分別	9
V. 活動評価のまとめ	9
1. 燃えるごみ減量の状況	9
(1) 啓発の成果	9
(2) 生ごみ分別処理の施策が無かった	10
(3) ごみ減量の重量と容量の結果の差	10
2. 生ごみの減量について	10
3. 啓発活動の必要性	11
VI. 今後の取り組みの提案	12
VII. 新たな生駒市一般廃棄物処理基本計画に向けての提案	12

資料

- 資料1 生駒市ごみ減量市民会議開催要項
- 資料2 イベントでの啓発活動
- 資料3 ごみ減量市民会議活動資料
- 資料4 自治会懇談会の実施
- 資料5 エコクッキング教室の開催

- 資料 6 生ごみ処理器「キエーロ」啓発活動
- 資料 7 資源ごみ量の推移
- 資料 8 燃えるごみの量の変化
- 資料 9 燃えるごみの各組成の重量と容量の比率
- 資料 10 小学 4 年生のごみ学習
- 資料 11 生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画「ごみ半減プラン」の策定からごみ減量市民会議設置までの経緯
- 資料 12 燃えるごみ排出量の推移及び目標達成状況
- 資料 13 集団資源回収の量
- 資料 14 ごみ減量市民会議本会議の開催
- 資料 15 広報による啓発活動
- 資料 16 その他の活動

ごみ減量市民会議 3年間の活動まとめ

I. 生駒市ごみ減量市民会議の設置

生駒市ごみ減量市民会議開催要綱（資料1参照）に基づく。

II. 設置の趣旨

市民・事業者・行政の連携により、ごみ減量に向けた活動を実践し平成23年5月に策定された「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（ごみ半減プラン）」に掲げる燃えるごみの半減目標を達成するため、生駒市ごみ減量市民会議を開催する。

III. 参加者

生駒市ごみ減量市民会議開催要綱第3条に基づく。

自治連合会5名、市民団体代表者7名、公募市民4名

第3条 市長は、次に掲げる者のうちから、会議へ参加する者（以下「参加者」という。）に参加を求めて会議を開催するものとする。なお、原則として同一の者に継続して会議への参加を求めるものとする。

- (1) 生駒市ごみ半減会議会員のうち、ごみ減量に向けた活動の実践に賛同する者
- (2) 市民団体等の代表者
- (3) その他市長が必要と認める者

生駒市ごみ減量市民会議名簿

氏名			備 考
平成28年度	平成29年度	平成30年度	
坂本 剛伸	坂本 剛伸	坂本 剛伸	座長
藤堂 宏子	藤堂 宏子	藤堂 宏子	座長代行
淡輪 勝人	淡輪 勝人		
藤澤 清二	藤澤 清二	藤澤 清二	
永野 洋子	永野 洋子	永野 洋子	
山下 博史	山下 博史	山田 龍三	
田中 勝久	田中 勝久	田中 勝久	
藤尾 庸子	藤尾 庸子	藤尾 庸子	
石川 千明	石川 千明	清水 綾	
下山 一則	下山 一則	下山 一則	
奥田 高弘	奥田 高弘	奥田 高弘	
小山 忠昭	小山 忠昭	小山 忠昭	
山口 昭夫	山口 昭夫	山口 昭夫	
藤中 章夫	藤中 章夫	藤中 章夫	
寺井 孝幸	寺井 孝幸	寺井 孝幸	
中谷 充隆	大隈 利明	山村 浩之	

IV.生駒市ごみ減量市民会議活動内容

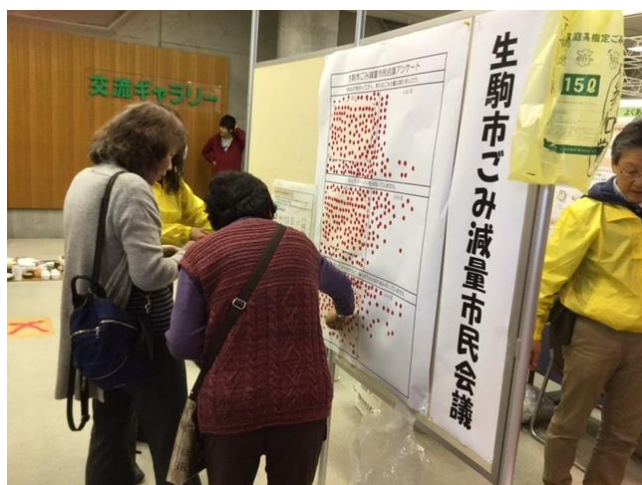
生駒市ごみ減量市民会議は、その活動にあたり以下の①から⑥を軸に活動を行う事を会議の中で確認し実施してきました。

①市民意識の把握

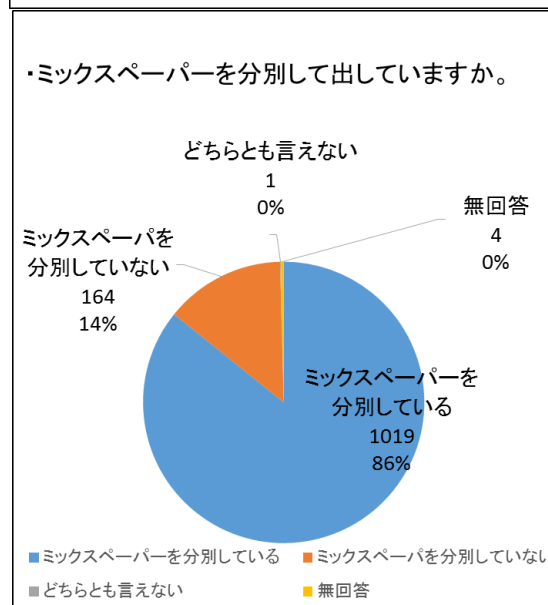
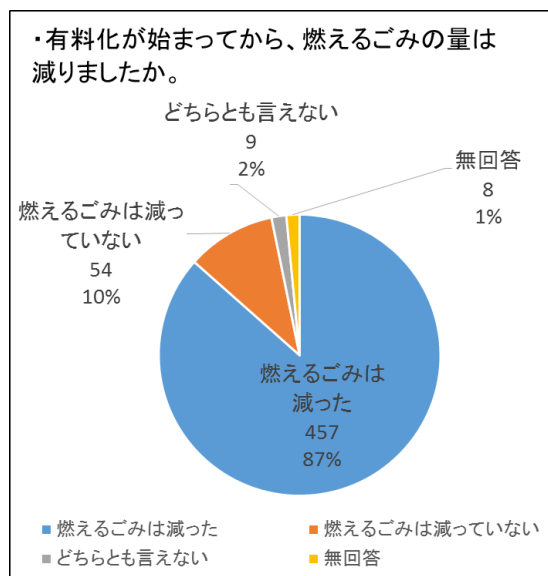
平成 28 年 9 月に実施した「ごみ減量化にむけて」アンケートの内容を把握しました。この中で、有料化によるごみ減量を効果的と感じる人がごみ有料化前に実施したアンケート結果に比べ増えており、ごみが減っていると市民が感じていると考えられます。ごみ有料化の収入について市民への還元を求める意見も確認しました。

また、環境フェスティバルやいこま魅力博等のイベント内でシールアンケート等を実施しイベント参加者の意見を確認しました。主な内容は以下のとおりです。

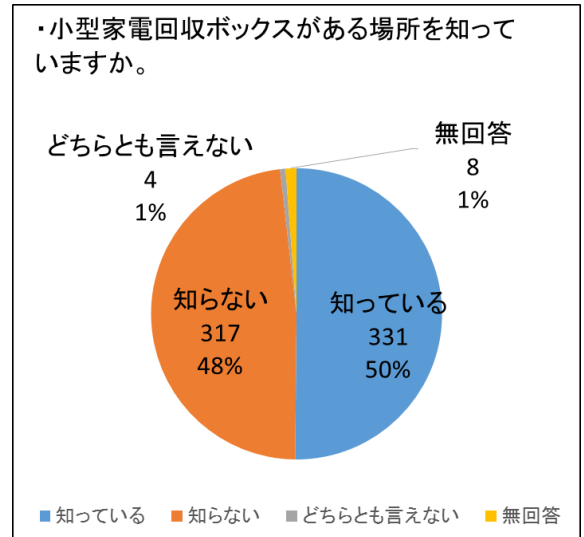
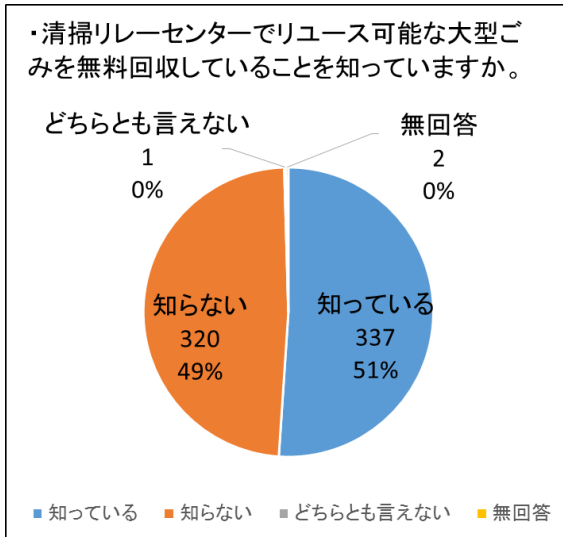
- (1) 家庭ごみ有料化が始まって、燃えるごみの量が減ったと感じている回答が 86.6%と多くの方が減量を感じています。(平成 28 年 11 月 13 日いこま博実施分)



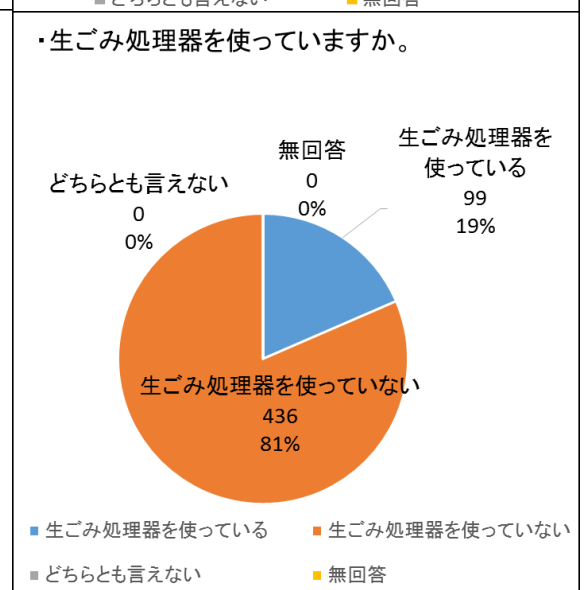
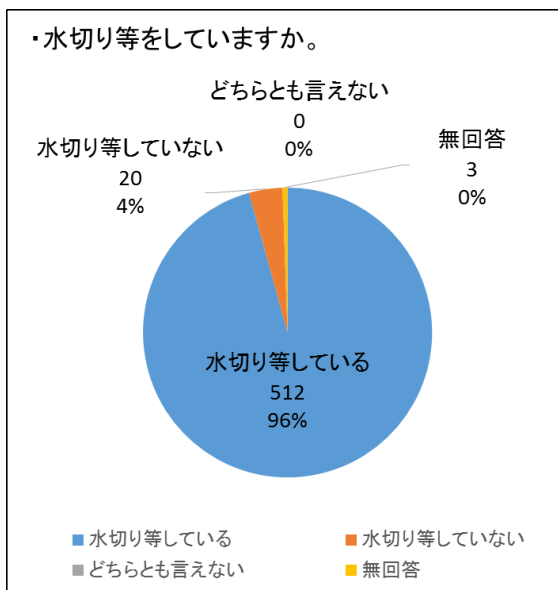
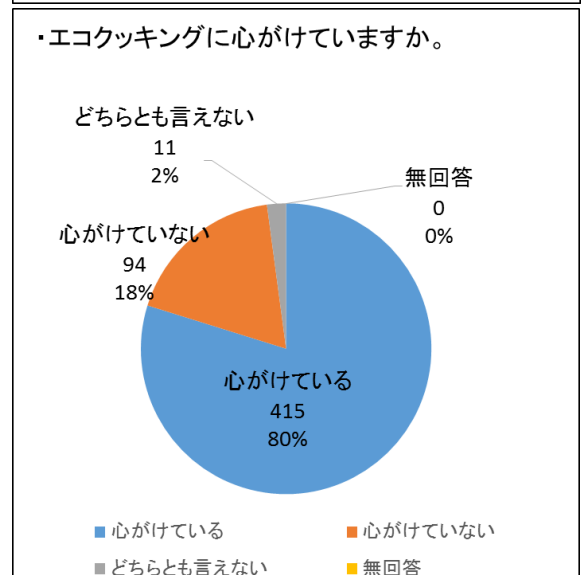
- (2) ミックスペーパーを分別しているとの回答は 85.6%と多くの方が実施しています。(平成 28 年 11 月 13 日いこま博、平成 29 年 6 月 25 日環境フェスティバル実施分)



- (3) リユースの取り組みとして清掃リレーセンターでリユース可能な大型ごみを無料収集していることを知っている人は 51.1%、小型家電回収ボックスがある場所を知っている人は 50.2%とそれぞれ約半数でした。(平成 29 年 6 月 25 日環境フェスティバル実施分)

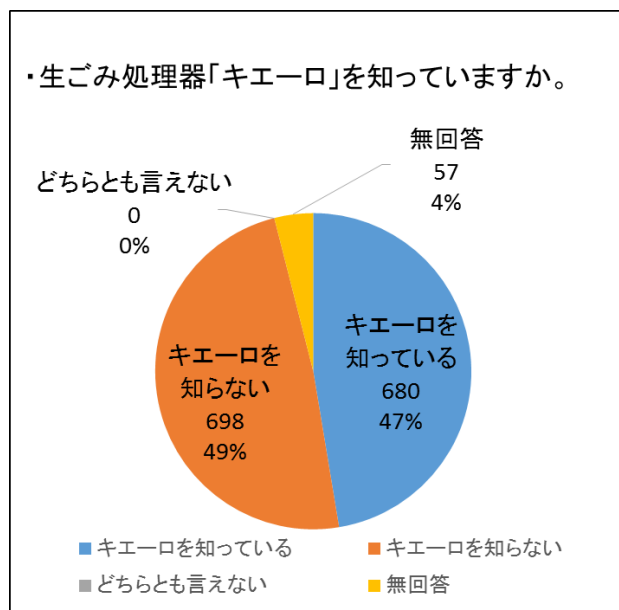


- (4) 生ごみについての確認では、エコクッキングに心掛けている人は 77.6%、水切りなどの対応をしている人は、95.7%、生ごみ処理器を使っている人は 18.5%となっています。(平成 29 年 11 月 12 日いこま魅力博実施分)



(5) 生ごみ処理器「キエーロ」を知っている人は、47.6%となりました。(平成29年11月12日いこま魅力博から平成30年11月11日いこま魅力博までの4回のアンケートの結果)

(アンケートの詳細は、資料2 イベントでの啓発活動を参照。)



②自治会単位の懇談会の実施

自治会懇談会実施内容

「燃えるごみ削減に向けて」(資料3 パワーポイント資料参照。)の説明に続いて、懇談にてごみの出し方について説明を行い、その後、質疑応答を実施しました。この時、会場の大きさや参加人数に応じてグループに分け懇談を実施しました。減量の取り組みについてキエーロの説明も行い、興味を持たれる方にモニターになっていただきました。



開催状況（詳細は、資料4 自治会懇談会の実施を参照）

年度	開催日	団体	参加人数	備考
28	平成 28 年 10 月 6 日	萩の台住宅地自治会	36 名	
	平成 28 年 11 月 6 日	あすか野自治会	18 名	
	平成 29 年 1 月 9 日	小明台自治会	30 名	
	平成 29 年 2 月 19 日	辻町アバンライフ自治会	20 名	
29	平成 29 年 5 月 17 日	いこま寿大学	4 名	
	平成 29 年 5 月 18 日	いこま寿大学	12 名	
	平成 29 年 12 月 3 日	ひかりが丘自治会		不用品交換会参加者が対象のため人数不明 キエーロモニター5名[応募
	平成 29 年 12 月 15 日	壺分町西自治会	32 名	キエーロモニター3名応募
30	平成 30 年 5 月 16 日	いこま寿大学	8 名	
	平成 30 年 5 月 17 日	いこま寿大学	3 名	
	平成 30 年 6 月 15 日	壺分町東自治会	34 名	
	平成 30 年 7 月 15 日	鹿ノ台自治連合会	27 名	キエーロモニター 1 名応募
	平成 30 年 7 月 21 日	谷田町自治会	31 名	キエーロモニター 2 名応募
	平成 30 年 11 月 18 日	東旭ヶ丘自治会	47 名	キエーロモニター 6 名応募
	平成 30 年 12 月 8 日	北大和自治会連絡協議会 環境整備委員会	28 名	キエーロモニター 6 名応募
	平成 30 年 12 月 14 日	久保自治会	26 名	キエーロモニター 1 名応募
	平成 31 年 2 月 24 日	萩原町自治会	30 名	キエーロモニター 7 名応募

3 年間で 17 回実施。参加者合計 386 名。

懇談の中で市民から収集した主な意見は以下のとおり。

- (1) プラスチック製容器包装の分別がわかりにくい。
- (2) プラスチック製容器包装は、製品のプラスチックとなぜ分けなければならないのか分からない。
- (3) 汚れたプラスチック製容器包装をどこまできれいにすればよいか、燃えるごみに出したほうがいいのか、判断が難しいと感じている。
- (4) クリーニングのビニールカバー・プラスチックのハンガー、バラン、商品やサービス紹介の冊子を包むビニール等、プラスチック製容器包装の対象外であることを知らなかった。
- (5) ミックスペーパーの分別がわからない。
- (6) シュレッダーの紙はリサイクルのごみとして出せるのか。

- (7) お酒のパック等内側が銀色の素材でコーティングされているものはリサイクルとして出せるか。
- (8) 衛生社の冊子が分かりやすい。
- (9) ごみ有料化に伴う歳入、歳出について。
- (10) このような説明会をもっと実施すればいいのでは。(ごみ分別、キエーロ啓発等の話を受けて)
- (11) 有料化後、自分の出すごみが減ったと感じている人が多い。
- (12) 燃えるごみをさらに減らすことができると感じている人は多くいる。

③有料化の成果についての PR

自治会懇談会において、家庭系燃えるごみ有料化後のごみの状況をパワーポイントで説明を実施しました。(資料3内「燃えるごみ削減に向けて」を参照。)

家庭系燃えるごみ有料化後に燃えるごみが削減している状況に感謝の気持ちを伝えながら数値を踏まえて説明しました。また、一方で資源化できる紙類、プラスチック製容器包装等が燃えるごみに混在している状況を説明し、ごみの分別の必要性について説明しました。

説明の間に参加者との対話を行い、家庭系燃えるごみ有料化においてごみが減ったと感じている人が多いこと、ごみの減量、分別の余地がまだ有ると感じている人がいることを確認しました。

④生ごみの減量

(1) 食品ロス削減に関する啓発活動

自治会懇談会や各種イベントにおいて、家庭から排出される燃えるごみの中に生ごみが約4割を占めていることを紹介し、賞味期限切れの廃棄や食べ残しによる廃棄で燃えるごみが増えないよう、食品ロスを生まない意識についての啓発や生ごみ処理器の活用、フードドライブの活用等、啓発活動を実施しました。

(2) エコクッキング開催

生駒市健康づくり推進員連絡協議会が開催している料理教室において、エコクッキングを6回開催し、調理に先立ちごみの分別についての説明を実施し、調理中に、生ごみを減らすための調理の工夫を実践の中で紹介。



エコクッキング開催状況（資料5エコクッキング教室の開催を参照）

年度	開催日	参加人数	場所
29	平成 30 年 2 月 23 日	30 名	セラビーいこま 3 階 調理室
30	平成 30 年 8 月 28 日	31 名	北コミュニティセンターISTA はばたき 2 階 調理室
	平成 30 年 11 月 27 日	16 名	たけまるホール 1 階 調理室
	平成 30 年 11 月 30 日	41 名	生駒幼稚園 1 階 多目的室
	平成 31 年 1 月 30 日	26 名	セラビーいこま 3 階 調理室
	平成 31 年 3 月 28 日	46 名	北コミュニティセンターISTA はばたき 2 階 調理室

参加者合計 190 名

(3) フードドライブ実施

たけまるホール 1 階調理室前で毎週木曜日午前 9 時から午前 12 時まで受付。

平成 29 年 4 月から平成 31 年 3 月末までに 7 2 4 点、2 3 3 k g の食品が集まり、フードバンク奈良を通して、福祉施設へ提供されました。

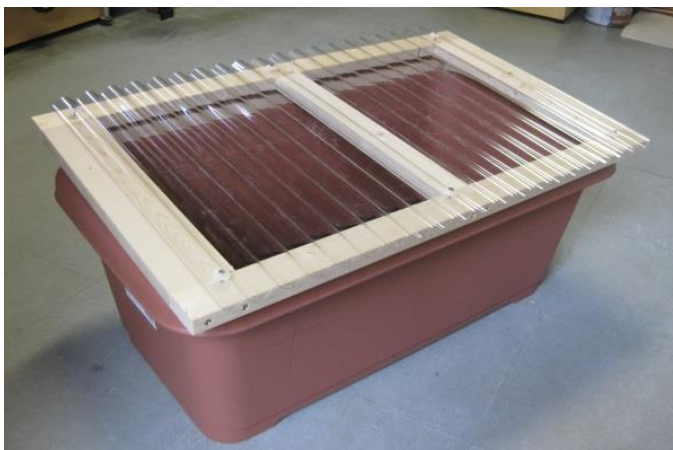
(4) ゼロ・ウェイスト宣言自治体視察（斑鳩町）

ゼロ・ウェイストとは、無駄・ごみ・浪費をなくすという意味で、出てきた廃棄物をどう処理するかではなく、そもそもごみを生み出さないようにしようという考え方です。このゼロ・ウェイスト宣言を行い、生ごみについては分別収集を行っている斑鳩町の視察を行いました。生ごみはモデル地区内の希望者のみで実施しており視察時には斑鳩町の半数の世帯で実施しているとのことでした。各家庭では密閉式のバケツ（ごみ出しの際には水切りできる）を使用し、集積所の専用バケツに生ごみを投入し、収集時は専用バケツを含め回収されバケツは洗浄されて次回収集の前日までに戻される流れとなっていました。



⑤キエーロの普及

ごみ減量市民会議の参加者自らキエーロを使用し、ごみ減量市民会議において使用状況の確認を行い、普及時の説明方法について確認しました。このことを踏まえて、キエーロ製作講座、自治会懇談会、各種イベントでプランターde キエーロの普及活動を実施しました。



製作講座等実施状況（資料6 生ごみ処理器「キエーロ」啓発活動を参照）

年度	開催日	イベント	人数	
28	平成28年6月26日	環境フェスティバル内キエーロ製作講座	20	
	平成28年7月30日 31日	夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう！」	33	
	平成28年10月1日	キエーロ製作講座	27	
	平成28年10月8日	キエーロ製作講座	26	
29	平成29年6月3日	キエーロ製作講座	17	
	平成29年6月10日	キエーロ製作講座	9	
	平成29年6月11日	キエーロ製作講座	11	
	平成29年7月22日 23日	夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう！」	56	
	平成29年8月4日	キエーロ製作講座	20	
30	平成30年6月30日	キエーロ製作講座	20	
	平成30年7月7日	キエーロ製作講座	-	豪雨のため中止
	平成30年7月21日 22日	夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう！」	46	

プランターde キューロモニター参加者

(参加者 1 名にベランダ de キューロ 1 台を配布)

平成 28 年度 106 名 (イベント 106 名、個別申込 0 名)

平成 29 年度 144 名 (イベント 113 名、個別申込 31 名)

平成 30 年度 154 名 (イベント 66 名、個別申込 88 名)

3 年間合計 404 名 (イベント 285 名、個別申込 119 名)

モニター参加者のアンケート結果から、使用方法を誤っているために、臭いや虫が発生し、使用を断念している状況から、アフターフォローのチラシを作成し、対象者へ送付しました。

⑥資源ごみの分別

自治会懇談会において実際の資源ごみ等 (ペットボトル、プラスチック製容器包装、製品のプラスチック、ミックスペーパー等) を確認いただき、分別の正しい方法や集団資源回収の活用を紹介し、その後、グループに分かれ対話形式で市民の疑問に回答しました (質問内容は 4 ページ、5 ページ参照)。実際のごみを用いたり、商品毎に個別に分別方法を紹介することで、参加者から「分かりやすい」「もっと他にもこのような場を設けてほしい」との声がある一方、容器包装リサイクル法に基づくプラスチック製容器包装の分別が「分かりにくい」、「同じプラスチックなのに製品と包装となぜ分ける必要があるのか」との意見もありました。

(資源ごみ量の推移は別紙資料 7 参照)

V.活動評価のまとめ

1.燃えるごみ減量の状況

家庭系ごみ量は平成 30 年度において平成 25 年度と比較し重量では 13.2%の減少となり、ごみ減量市民会議においての目標 25%には届かない状況でした。また、ごみ減量市民会議の活動を開始した平成 28 年 7 月以降で見ると燃えるごみの量はほぼ増減無しの状況です。この状況についてこれまでの活動に基づき、その要因を以下のとおりまとめます。

(1)啓発の成果

資料 8 の家庭系燃えるごみ量の推移から、ごみの分別の種類の変更や有料化等の施策を実施しないと大きな数値の変化にならないと言えます。また、有料化導入にあたって、学識経験者から「生駒市はごみ有料化実施後リバウンドしやすいと考えられる」との意見を聞いていた中、ほぼ増加無しで推移していることから、ごみ減量市民会議での啓発等の成果でリバウンドを防いでいるとも考えられます。

(2)生ごみ分別処理の施策が無かった

「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（ごみ半減プラン）」では、生ごみをエコパーク 21 で処理する計画を示していましたが、結果的に実現しないまま今日に至っています。また、これに変わる代替案も無い状況です。このことから、生ごみを燃えるごみから減量する方法は、生ごみ処理機の活用のみで、自家処理しかなく、リサイクルの推進を説明できない状況にありました。

生ごみは燃えるごみの中の約 4 割（重量比）を占めると組成調査の結果で示されており、生ごみ分別処理の施策があれば、燃えるごみ半減の達成は難しいとしても、現状よりさらに減量できた可能性はあると思われまます。

(3)ごみ減量の重量と容量の差

市民の意識の把握として調査や懇談の中で確認した結果としては、有料化により燃えるごみが減ったと多数の人が感じています。

燃えるごみの重量比では 13.2%の減量ですが、容量比で見れば減少率は 33.9%を超えています。（資料 9 燃えるごみの量の変化参照）市民としての実感を使用するごみ袋の大きさや集積所に積まれたごみの量によるものとなります。

収集量や組成調査の結果を用いて確認すると、平成 29 年度に実施した燃えるごみの組成調査結果を平成 30 年度の燃えるごみの量に適応させた状況から、生ごみは重量では燃えるごみの 46.2%なっていますが、容量では 17.4%であり、プラスチック製容器包装の約 25.6%、ミックスペーパーの 18.5%に次いでこの量となっています。

（資料 10 各指定ごみ袋での組成の比率参照）

生駒市の指定ごみ袋が容量制であるため、容量の多いものから分別を実施すると比較的重量の軽いものから分別が進んでしまい、その結果、重量での減量が進みにくい状況となっていると考えます。

2.生ごみの減量について

燃えるごみ減量における生ごみの減量の取り組みとして、市民が実践できることは、「調理時の廃棄を減らす」、「食べ残しをしない」、「水切りをする」、「生ごみ処理器で自家処理をする」等の取り組みがあります。

市民が実践している状況は、調査の結果から、

(1)生ごみについての確認では、エコクッキングに心掛けている人は 77.6%

(2)水切りなどの対応をしている人は、95.7%

(3)生ごみ処理器を使っている人は 18.5%

（平成 29 年 11 月 12 日いこま魅力博実施分）

(4)生ごみ処理器「キエーロ」を知っている人は、47.6%

(平成29年11月12日いこま魅力博から平成30年11月11日いこま魅力博までの4回のアンケートの合計結果)

となっています。

生ごみは、燃えるごみ全体でみて重さでは、4割を超える比率ですが、容量では17.4%となっており、ごみ有料化の指定袋制で分別が進みにくい分類です。

また、市民の方の普段の取り組みですでに水切りやエコクッキングは多くの方が取り組まれており、食生活の中での大幅な減量は難しいと考えられます。ただし、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年5月31日に公布されたこともあり、今後、食品ロス削減の取り組みについて継続して実施する必要性があると考えられます。

さらに、生ごみ処理器については、平成29年11月12日いこま魅力博でのアンケート結果で生ごみ処理器を使っている人は18.5%にとどまっており、プランターdeキエーロのモニター結果において1年後の継続率は約6割程度となっているので、生ごみ処理器だけで減量を進めることは難しい状況です。

3.啓発活動の必要性

ごみ減量市民会議において、自治会懇談会、キエーロ製作講座、エコクッキング教室、環境フェスティバル等イベントでの啓発を行いました。また、生駒市においても小学校4年生の環境学習において、生駒市清掃センターの施設見学や(株)生駒市衛生社の協力によるごみ収集体験学習(資料1-1 小学校4年生のごみ学習を参照)を行っている他、どこでも講座でごみに関する説明会や処理施設の見学案内等実施しています。このことを踏まえて、以下に示す市民の意見や状況から啓発活動は今後も継続して実施することが重要と考えます。

- (1)ごみの分別については、多くの方が分別を行っていますが、さらに分別ができる余地があることを確認できました。分別の方法について文字の情報だけでは分かりにくいことを懇談会等で説明することで理解してもらえます。ただし、プラスチック製容器包装については、対象となるかどうかの判断に迷ううえ、容器包装リサイクル法に基づくことからプラスチック製品は対象にならないことが理解されにくい状況であり、説明に工夫が必要です。
- (2)生ごみについては、シールアンケート等での結果において、キエーロやフードドライブの言葉を知らない方が半数以上あり、食品ロス削減につながる取り組みについて、今後さらなる啓発が必要です。
- (3)自治会懇談会については、「話を聞けて良かった」「もっと開催すべき」との意見がありました。

- (4)キエーロについても自治会懇談会同様、市民からもっと紹介の機会を増やすべきとの声がありました。
- (5)エコクッキングや自治会懇談会での班分けのティーミーティングは場を和まし、前向きな雰囲気になることが多くありました。今後の活動においての工夫の材料となります。

VI.今後の取り組みの提案

新たな生駒市一般廃棄物処理基本計画は令和3年4月施行する予定で、それまでは、現計画に基づくこととなりますが、これまで実施してきた結果から、燃えるごみの減量は、新たな施策を策定しなければ、減量は難しい状況です。このことから、令和元年8月から活動する新たな組織は、現計画が終了するまで、燃えるごみが増加しないよう啓発を実施していくこととし、より啓発活動を中心とした取組を行います。

VII.新たな生駒市一般廃棄物処理基本計画に向けての提案

新たな生駒市一般廃棄物処理基本計画次期計画に向けて、これまでの活動に基づき以下の提案を示します。

- (1)ごみの分別の種類の変更や有料化等の施策を実施しないとごみ減量の数値の変化が現れにくい。そのため、**生駒市一般廃棄物処理基本計画**の次期計画においては、現状の計画を検証の上、実現可能な施策と目標数値をお願いしたい。
- (2)今後の超高齢化社会の到来に向けて、現状のごみステーション方式の出し方では、坂道の多い中でのごみ出しの負担が多くなることが予想され、戸別収集について検討する。また、プラスチック製容器包装の分別の複雑さに伴う負担を軽減するため廃プラ（プラスチック製容器包装以外のプラを含む）の収集対応を検討する。
- (3)生ごみや剪定枝等の廃棄物について焼却に頼らないごみ処理手法の導入を検討し、視察を行った斑鳩町の生ごみの処理手法や鹿児島県にバイオによる処理施設が稼働しており、これらを参考にする。
- (4)V評価のまとめ、1.燃えるごみ減量の状況、(3)ごみ減量の重量と容量の差に記述する内容のとおり、市民の感覚ではごみの量を容量で見ていることが多いことから、生ごみのような重さに対して容量が小さいものについては、目標（重量比）に対して結果が伴いにくい状況であることから、今後の目標の設定として**重量と合わせて容量**での評価を取り入れる。

生駒市ごみ減量市民会議開催要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、市民・事業者・行政の連携によりごみ減量に向けた活動を実践し「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（ごみ半減プラン）」に掲げる燃えるごみの半減目標を達成するため、生駒市ごみ減量市民会議を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 生駒市ごみ減量市民会議の会議（以下「会議」という。）は、以下の事項について意見を求め、及び実践を求めるため開催する。

- (1) ごみ減量の実践に関する基本的な方針に関すること
- (2) ごみ減量の実践に関する手法に関すること
- (3) ごみ減量に向けた活動の実践に関すること
- (4) その他ごみ減量の推進に関し市長が必要と認める事項

(会議の開催)

第3条 市長は、次に掲げる者のうちから、会議へ参加する者（以下「参加者」という。）に参加を求めて会議を開催するものとする。なお、原則として同一の者に継続して会議への参加を求めるものとする。

- (1) 生駒市ごみ半減会議会員のうち、ごみ減量に向けた活動の実践に賛同する者
- (2) 市民団体等の代表者
- (3) その他市長が必要と認める者

(運営)

第4条 会議は、参加者の互選により定める座長が進行する。

- 2 座長に事故あるときは、あらかじめ参加者の互選により定める座長代行が会議を進行する。
- 3 市長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(分科会)

第5条 市長は、必要があると認めるときは、分科会を開催することができる。

- 2 市長は、参加者その他必要と認める者のうちから分科会への参加を求めるものとする。

(開催期間)

第6条 会議の開催期間は、3年間を目途とする。

(謝礼等)

第7条 会議の参加者に対し、謝礼として日額5,000円を支払うものとする。ただし、市長の求めにより、参加者が会議の目的を達成するため市外に出張した場合は電車賃等の実費相当額を、会議以外で市内において出務した場合は一律日額500円をそれぞれ謝礼として支払うものとする。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、環境保全課において処理する。

(施行の細目)

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年7月14日から施行する。

イベントでの啓発活動

平成28年度

・いこま博 平成28年11月13日(日) 10:00~15:00

シールアンケート実施 参加者 528名

アンケート集計結果

1. 有料化が始まってから、燃えるごみの量は減りましたか。

①はい	457名(86.6%)
②いいえ	54名(10.2%)
③どちらとも言えない	9名(1.7%)
④無回答	8名(1.5%)

2. ミックスペーパーを分別していますか。

①はい	452名(85.6%)
②いいえ	73名(13.8%)
③どちらとも言えない	0名(0.0%)
④無回答	3名(0.6%)

3. 生ごみは絞ってから出すなど、減らすための取り組みをしていますか。

①はい	461名(87.3%)
②いいえ	55名(10.4%)
③どちらとも言えない	0名(0.0%)
④無回答	12名(2.3%)

平成29年度

・環境フェスティバル 平成29年6月25日(日) 10:00~14:50

シールアンケート実施 参加者 660名

アンケート集計結果

1. ミックスペーパーを分別して出していますか。

①はい	567名(85.9%)
②いいえ	91名(13.8%)
③どちらとも言えない	1名(0.2%)
④無回答	1名(0.2%)

2. 生駒市が行っている「リユース(再使用)」の取り組みを知っていますか。

イ. もったいない食器市

①はい	604名(91.5%)
②いいえ	55名(8.3%)
③どちらとも言えない	1名(0.2%)
④無回答	0名(0.0%)

ロ. リレーセンターでのリユース可能な大型ごみの無料収集

①はい	337名(51.1%)
②いいえ	320名(48.5%)
③どちらとも言えない	1名(0.2%)
④無回答	2名(0.3%)

3. 小型家電回収ボックスがある場所を知っていますか。

①はい	331名(50.2%)
②いいえ	317名(48.0%)
③どちらとも言えない	4名(0.6%)
④無回答	8名(1.2%)

◎問3「小型家電回収」と問2 ロの「リレーセンターでのリユース可能な大型ごみの無料収集」の認知度が低いことが今後の課題。

・いこま魅力博 平成29年11月12日(日) 10:00~15:00

キエーロモニター募集 プランターde キエーロ 16名応募

シールアンケート実施 参加者 535名

アンケート集計結果

1. いちばん良く使うゴミ袋のサイズはどれですか。

①7ℓ	135名(25.2%)
②15ℓ	160名(29.9%)
③30ℓ	140名(26.2%)
④45ℓ	99名(18.5%)
⑤無回答	1名(0.2%)

2. 生ごみを減らす取り組みについてお聞きします。

イ. 生ごみ処理器を使っていますか？

①はい	99名(18.5%)
②いいえ	436名(81.5%)

- ③どちらでもない。 0名(0. 0%)
 ④無回答 0名(0. 0%)

ロ. エコクッキングに心掛けていますか？

- ①はい 415名(77. 6%)
 ②いいえ 94名(17. 6%)
 ③どちらでもない。 11名(2. 1%)
 ④無回答 0名(0. 0%)

ハ. その他(水きり等をしていますか?)

- ①はい 512名(95. 7%)
 ②いいえ 20名(3. 7%)
 ③どちらでもない。 0名(0. 0%)
 ④無回答 3名(0. 6%)

3. 生ごみ処理器「キエーロ」を知っていますか？

- ①はい 175名(32. 7%)
 ②いいえ 357名(66. 7%)
 ③どちらでもない。 0名(0. 0%)
 ④無回答 3名(0. 6%)

◎エコクッキングや水切り等の取り組みは多くの方が実施していただいている。

「キエーロを知っていますか」という質問について、約32%の方が「はい」と回答、予想以上に知っていただいている。

平成30年度

・環境フェスティバル 平成30年6月24日(日) 10:00~15:00

キエーロモニター募集 プランターde キエーロ 20名応募

シールアンケート実施 参加者 900名

アンケート集計結果

食品ロスを減らす取り組みについてお聞きします。

①冷蔵庫の中をチェックしていますか？

(1)消費期限をチェックしている。

470名(52. 2%)

(2)消費期限の他、傷み具合もチェックしている。

- 392名(43.6%)
- (3)チェックしていない。 45名(5.0%)
- (4)無回答 0名(0.0%)

※900名を超えていますが、2以上の回答をされた方がおられる為です。

②フードドライブを市が行っていることを知っていますか？

- (1)はい 423名(47.0%)
- (2)いいえ 419名(46.6%)
- (3)無回答 58名(6.4%)

③エコクッキングに心掛けていますか？

- (1)はい 644名(71.6%)
- (2)いいえ 207名(23.0%)
- (3)無回答 49名(5.4%)

生ごみ処理器「キエーロ」を知っていますか？

- (1)はい 505名(56.1%)
- (2)いいえ 341名(37.9%)
- (3)無回答 54名(6.0%)

◎冷蔵庫をチェックしていない人の割合が「5%」と低く、エコクッキングにも心がけていただいている。またフードドライブ・キエーロへの関心も比較的高い。

・地域ぐるみ文化祭 平成30年10月27日(土) 9:00~14:00

キエーロモニター募集 プランターdeキエーロ 6名応募

シールアンケート実施 参加者 80名

アンケート集計結果

1. 冷蔵庫の中をチェックしていますか。

- ①はい 69名(86.3%)
- ②いいえ 11名(13.8%)
- ③無回答 0名(0.0%)

2. この半年間で未開封の食品を捨てたことがありますか。

- | | |
|------|------------|
| ①はい | 47名(58.8%) |
| ②いいえ | 31名(38.8%) |
| ③無回答 | 2名(2.5%) |

3. フードドライブを市が行っていることを知っていますか。

- | | |
|------|------------|
| ①はい | 22名(27.5%) |
| ②いいえ | 56名(70.0%) |
| ③無回答 | 2名(2.5%) |

4. 生ごみ処理器「キエーロ」を知っていますか？

- | | |
|------|------------|
| ①はい | 38名(47.5%) |
| ②いいえ | 40名(50.0%) |
| ③無回答 | 2名(2.5%) |

◎冷蔵庫の中をチェックしている人は割合が高いが、フードドライブ、キエーロの認知度が低い。

・いこま魅力博 平成30年11月11日(日) 10:00~15:00

キエーロモニター募集 プランターdeキエーロ 13名応募

シールアンケート実施 参加者 754名

アンケート集計結果

1. 冷蔵庫の中をチェックしていますか。

- | | |
|------|-------------|
| ①はい | 657名(87.1%) |
| ②いいえ | 97名(12.9%) |
| ③無回答 | 0名(0.0%) |

2. この半年間で未開封の食品を捨てたことがありますか。

- | | |
|------|-------------|
| ①はい | 401名(53.2%) |
| ②いいえ | 344名(45.6%) |
| ③無回答 | 9名(1.2%) |

3. フードドライブを市が行っていることを知っていますか。

- | | |
|------|-------------|
| ①はい | 209名(27.7%) |
| ②いいえ | 537名(71.2%) |
| ③無回答 | 8名(1.1%) |

4. 生ごみ処理器「キエーロ」を知っていますか？

- | | |
|------|-------------|
| ①はい | 361名(47.9%) |
| ②いいえ | 380名(50.4%) |
| ③無回答 | 13名(1.7%) |

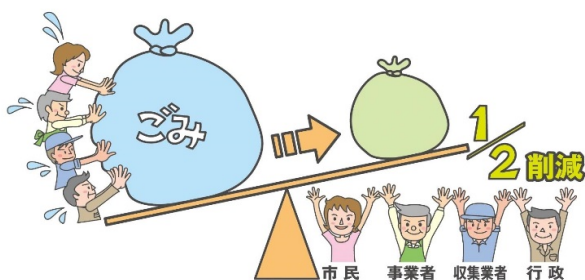
◎冷蔵庫の中をチェックしている人は割合が高いが、フードドライブ、キエーロの認知度が低い。この結果が生駒市の平均的な数値ではないかと考えられる。

ごみ減量市民会議 活動資料

- ・ 燃やすごみ減量に向けて
- ・ ごみ減量市民会議チラシ NO.1～NO.5
- ・ フードドライブ開催案内チラシ
- ・ 食品ロス削減啓発チラシ
- ・ 広報いこまち掲載内容（2019年5月）

燃やすごみ減量化に向けて
(自治会懇談会説明資料)

燃やすごみ削減に向けて



生駒市ごみ減量市民会議



内 容

- I ごみを減量する理由
- II 生駒市のごみの現状
- III ごみ半減プランの進捗
- IV 今後の予定
- V お知らせ



I ごみを減量する理由

世界的な課題

- ・環境負荷の少ない循環型社会の形成
- ・環境負荷軽減による地球温暖化防止

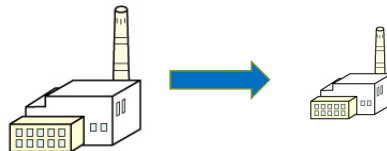


3

I ごみを減量する理由

生駒市にとってのメリット

- ・現焼却施設の延命化 ★建て替え時期を伸ばすことによる経費節減
- ・焼却施設建替え時の規模縮小による経費削減



- ・焼却に係る経費削減 (16.0%減量で3,320万円)

※平成26年度比平成28年度実績

- ・最終処分場(大阪湾埋立場)の延命化

★大阪湾フェニックス利用可能 平成44年度まで



4

II 生駒市のごみの現状

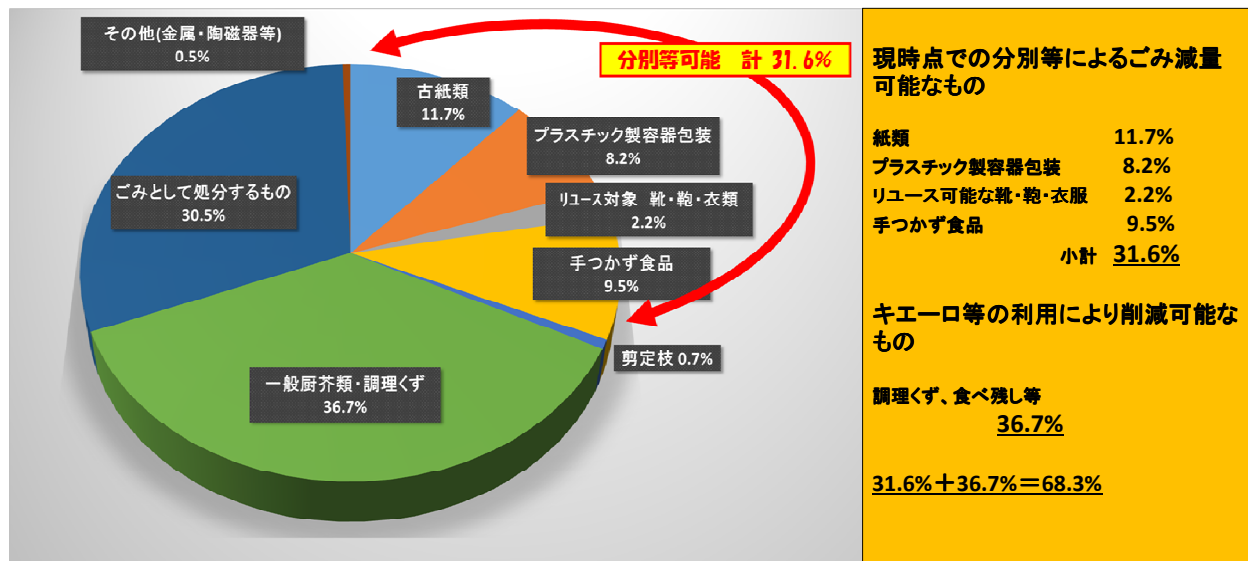
ごみ組成調査

みなさんの家庭から「燃えるごみ」として出されたものの中に、どの程度資源化可能なものが含まれているか調べるため、ごみ組成調査を実施しました。



5

平成30年3月 燃えるごみ組成実態



6

紙類 11.7%

[ミックスペーパー]



[きちんと折った新聞紙]



7

プラスチック製容器包装 8.2%

[プラスチック製容器包装]



8

手つかず食品 9.5%

[手つかず食品]



II 生駒市のごみの現状

家庭ごみの集積所での収集量

※ 平成25年度比 **燃えるごみ12.7%減**

家庭ごみ量

単位:t

収集場所	項目	平成25年4月 ~26年3月	平成26年4月 ~27年3月	平成27年4月 ~28年3月	平成28年4月 ~29年3月	平成29年4月 ~30年3月	平成29年度 /平成25年度	平成29年度 /平成26年度	平成29年度 /平成27年度	平成29年度 /平成28年度
集積所及び リレーセンター	燃えるごみ	21,977.12	23,407.30	19,307.93	18,987.16	19,186.27	87.3%	82.0%	99.4%	101.0%
	プラスチック製 容器包装	621.75	673.05	1,036.91	1,024.44	1,039.24	167.1%	154.4%	100.2%	101.4%
	ペットボトル	229.40	226.42	239.83	247.50	250.49	109.2%	110.6%	104.4%	101.2%
	びん・缶 われもの	1,401.51	1,470.40	1,308.05	1,305.32	1,291.70	92.2%	87.8%	98.8%	99.0%
集積所	新聞	611.94	659.90	759.42	829.91	762.83	124.7%	115.6%	100.4%	91.9%
	雑誌	109.14	117.46	142.52	148.66	262.69	240.7%	223.6%	184.3%	176.7%
	段ボール	353.48	379.79	385.34	408.18	431.42	122.0%	113.6%	112.0%	105.7%
	ボックスパー カー	8.67	12.43	104.21	141.44	130.16	1501.3%	1047.1%	124.9%	92.0%
	古着・ 古布(ウエス)	23.56	27.09	84.69	108.99	129.17	548.3%	476.8%	152.5%	118.5%
	くつ	3.47	3.94	15.25	21.15	24.46	704.9%	620.8%	160.4%	115.7%
	かばん	1.28	1.84	5.60	7.77	9.84	768.8%	534.8%	175.7%	126.6%
リレーセンター	新聞・雑誌等	145.26	164.21	49.31	50.73	63.22	43.5%	38.5%	128.2%	124.6%



Ⅲ ごみ半減プランの進捗

ごみ半減プランの目標値

ごみの焼却量



平成25年度実績	33,400t(95.4%)
平成26年度実績	35,800t(102.3%)
平成27年度実績	31,600t(90.3%)
平成28年度実績	30,100t(86.0%)
平成29年度実績	30,300t(86.6%)

まだまだ減量が必要です

※ ごみ減量市民会議では、家庭系燃えるごみを平成30年度までに平成25年度比で25%減量することを目標にしています。



Ⅳ 今後の予定

分別の促進
生ごみの処理器の普及

市の具体的な取組み例
各種生ごみ処理器の購入に対して補助金を交付

● 補助実績

種類	H22年度～29年度合計
電動型	1,728
コンポスト	272
ボカシ	134
キエーロ	39
合計	2,173
補助金額	88,050,500



バクテリアdeキエーロ
(直置きタイプ)



ベランダdeキエーロ
(床置きタイプ)



プランターdeキエーロ
(床置きタイプ)

● キエーロ製作講座・モニター募集

※平成28～29年度実績 248台



IV 今後の予定

キエー口の普及事業

キエー口を利用した生ごみ自家処理の普及促進

「キエー口」とは・・・
土中の細菌の力で生ごみを分解する生ごみ処理器です

- におわない・虫が発生しない
土に埋めてしまうので臭いがせず、虫も発生しにくい
- ランニングコストはゼロ
電気を使わないため、ランニングコストはゼロ
- 土の量が増えない
分解後に何も残らないため、堆肥が不要な方には最適
(堆肥として使うこともできます)



13

IV 今後の予定

エコクッキング



食品やエネルギーを無駄にせず、ごみを減らして、環境に配慮しながら楽しく料理をするエコクッキングを実践し、試食します。

平成30年度

※3回以上実施予定



14

IV 今後の予定

フードドライブ



ご家庭で余っている食品を持ち寄って、それを必要としている福祉施設や団体へ寄付、市の主催する福祉事業などで利用させていただきます。

3月末まで実施中

毎週木曜日 9時～12時

たけまるホール 調理室前



15

IV 今後の予定

「生駒市ごみ減量市民会議」の活動

- ①市民意識の把握
- ②懇談会の実施
- ③有料化の成果をPR
- ④生ごみの削減
- ⑤キエー口の普及
- ⑥資源ごみの分別



16

V お知らせ

燃えないごみの出し方の変更

- 4月から「傘・支柱などの棒状ごみ（1m以内）」が直径15cm以内であれば指定袋で出せるようになりました。
- 燃えるもの同士と燃えないもの同士でそれぞれ袋を分けてひもで束にする。
- 30ℓか45ℓの指定袋に入れる。

※ごみ集積所には出せません。
電話申込が必要です。

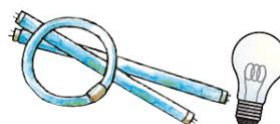


17

V お知らせ

4月から有害ごみの収集回数が増えました。

- 有害ごみは、年4回の収集でしたが、毎月2回のびん・缶、ペットボトル、われものと同じ日に収集します。



18

IV 今後の予定

引き続き、燃やすごみ半減に向けて
取り組んでいきます。

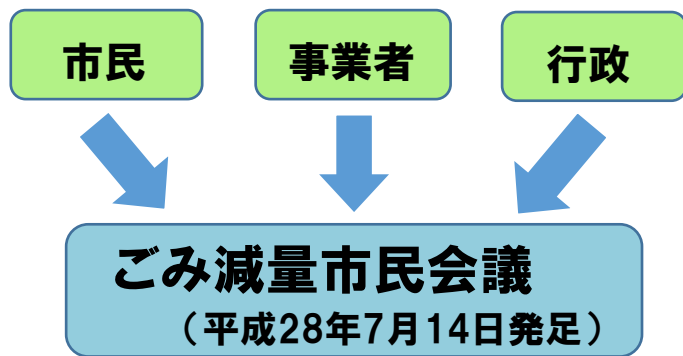
みなさんのご協力
をお願いします。



ごみ減量市民会議チラシ
「生駒市ごみ減量市民会議は燃えるご
みの減量に取り組んでいます」
NO. 1～NO. 5

(自治会懇談会、イベント等での啓発用チラシ)

生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！



「ごみ半減プラン」に掲げる燃えるごみ半減の目標を達成するため、市民・事業者・行政の連携で活動します。

当面の目標として、「家庭系燃えるごみを平成30年度までに、平成25年度比で25%削減する」を掲げています。



みなさんのご協力をお願いします！



ごみ減量市民会議の活動内容

1 市民意識の把握

アンケートを実施し、有料化後の市民の声を聞く。

2 懇談会の実施

自治会単位の懇談会で地域の生の声を聞き、ごみ減量につなげる。

3 有料化の成果をPR

有料化によるごみの削減量、コスト減、収益の用途をPRする。

4 生ごみの削減

- ・各生ごみ処理器のメリット・デメリットをPRし、生ごみ自家処理の普及を図る。
- ・生ごみ処理器利用者へのフォロー。
- ・食品ロス削減に取り組む。

5 キー口の普及

ごみ減量市民会議のメンバーでトライアル実施中

バクテリアdeキー口

6 資源ごみの分別

資源ごみを分別して出しやすい仕組みを検討。

資源ごみについて よくある質問

Q. プラスチック製容器包装の汚れは、どの程度まで出せるの？

- A. 軽く水ですすいで汚れが落ちれば、水気を切って出してください。洗う水も大切な資源ですので、軽くすすぐだけで汚れが落ちない場合は、燃えるごみで出してください。
シャンプーなどのボトルは、逆さまに置いて液が垂れなくなれば、洗わなくてもかまいません。

Q. ミックスペーパーはどんなもの？

- A. 新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パック以外のほとんどの紙がミックスペーパーです。
(汚れている紙や匂いの強い紙などは除く。)
地域の集団資源回収か、資源ごみとして透明・半透明の袋または紙袋に入れて燃えるごみの日に出せます。

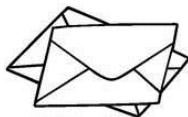
ミックスペーパーとして出せるもの (例)



チラシ・パンフレット



包装紙



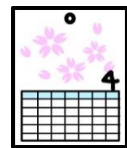
封筒



ノート



はがき



カレンダーなど

Q. シュレッダーで出た紙ごみはどうすれば良い？

- A. リサイクルができるので、シュレッダーごみだけを透明・半透明の袋に入れて燃えるごみの日に出してください。地域の集団資源回収でも取り扱っている場合があります。

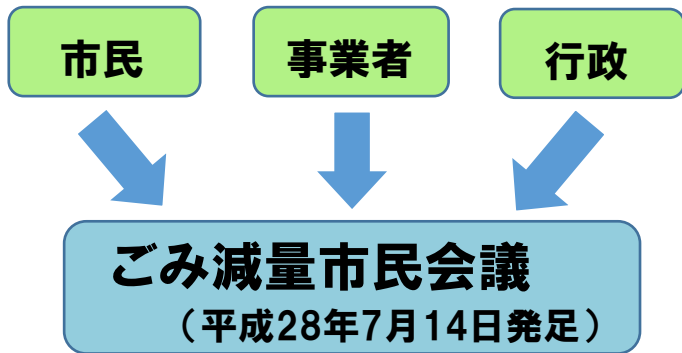
Q. 生ごみ処理容器の購入に補助金が出るの？

- A. 取扱指定店で購入したものに対して補助金を交付します。取扱指定店以外で購入した場合、補助金が交付されませんので注意してください。補助の対象となる処理容器や補助率等は問い合わせてください。

【問い合わせ】

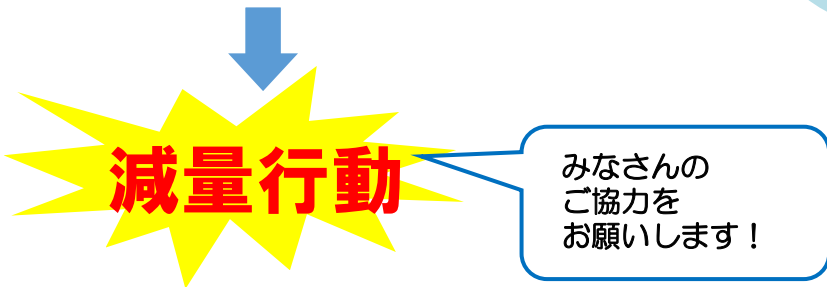
生駒市環境保全課 ☎74-1111(内線355)

生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！ No.2号




「ごみ半減プラン」に掲げる燃えるごみ半減の目標を達成するため、市民・事業者・行政の連携で活動します。

当面の目標として、「家庭系燃えるごみを平成30年度までに、平成25年度比で25%削減する」を掲げています。



ごみ減量市民会議の活動内容

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1 市民意識の把握
対面を中心として、有料化後の市民の声を聞く。 | 2 懇談会の実施
各種団体との懇談会で市民の生の声を聞き、ごみ減量につなげる。 | 3 有料化の成果をPR
有料化による燃えるごみの削減量、コスト減、収益の用途をPRする。 |
| 4 生ごみの削減
・各生ごみ処理器のメリット・デメリットをPRし、生ごみ自家処理の普及を図る。
・生ごみ処理器利用者へのフォロー。
・生ごみの「水切り」推奨。
・食品ロス削減に取り組む。 | 5 キー口の普及
電気等を使わず土の中のバクテリアで、生ごみを分解するキー口を市民に対してPRする。

バクテリアdeキー口 | 6 資源ごみの分別
資源ごみを分別して出しやすいよう、正しくリサイクルされていることが分かるチラシ等でPRする。 |

資源ごみについて よくある質問

Q. ミックスペーパーは地域の集団資源回収でも出せるの？

A. ほとんどの地域の集団資源回収でミックスペーパーを出すことができます。

ミックスペーパーとは、新聞紙・雑誌・段ボール・牛乳パック以外のほとんどの紙がミックスペーパーです。
(汚れている紙や匂いの強い紙などは除く。)

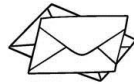
ミックスペーパーとして出せるもの (例)



チラシ・パンフレット



包装紙



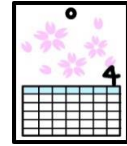
封筒



ノート



はがき



カレンダーなど

※地域の集団資源回収に出せない場合は、資源ごみとして透明・半透明の袋または紙袋に入れて燃えるごみの日に出せます。

Q. 生駒市は、どんな「リユース(再利用)」の取り組みをしているの？

A. 生駒市では次のリユースの取り組みをしています。

①もったいない食器市 月3回 ※いらなくなった陶磁器製食器、ガラス製食器を回収し、ほしい人に持ち帰ってもらう活動を行っています。

開催場所	開催日	開催時間
ディアーズコープいこま	毎月10日	午前10時～午後1時 持ち込みは午後0時30分までをお願いします。
南コミュニティセンターせせらぎ	第1木曜日	午後1時～午後3時
北コミュニティセンターISTAはばたき	第3木曜日	※食器市での回収は行いません。

※南コミュニティセンターせせらぎ・北コミュニティセンターISTAはばたきの回収は、無人回収コンテナを設置していますので施設の開館時間内に各自入れてください。

②リレーセンターでのリユース可能な大型ごみの無料収集

※清掃リレーセンターで不要となった家具などリユースできる物を処理手数料なしで回収しています。なお、リユースできないと判断したものは、その場で返却します。
祝日を除く毎週火曜日(13:00～15:30)

その他、「環境フリーマーケット」、「リユース市」、「市ホームページ不用品交換コーナー開設」等をおこなっています。

Q. 小型家電回収ボックスはどこにあるの？

A. 投入口(35cm×15cm)に入る小型家電を無料で回収する小型家電回収ボックスを設置しています。

設置場所は、①鹿ノ台ふれあいホール②北コミュニティセンター ISTAはばたき③図書館、④たけまるホール⑤市役所⑥南コミュニティセンターせせらぎの6ヶ所です。

【問い合わせ】

生駒市環境保全課 ☎74-1111(内線353)

生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！ No.3号

市民

事業者

行政

ごみ減量市民会議

(平成28年7月14日発足)

減量行動

みなさん
のご協力を
お願いします！

「ごみ半減プラン」に掲げる燃えるごみ半減の目標を達成するため、市民・事業者・行政の連携で活動します。

当面の目標として、「家庭系燃えるごみを平成30年度までに、平成25年度比で25%削減する」を掲げています。



ごみ減量市民会議の活動内容



1 市民意識の把握

対面を中心として、有料化後の市民の声を聞く。



2 懇談会の実施

各種団体との懇談会で市民の生の声を聞き、ごみ減量につなげる。



3 有料化の成果をPR

有料化による燃えるごみの削減量、コスト減、収益の用途をPRする。



4 生ごみの削減

- ・各生ごみ処理器のメリット・デメリットをPRし、生ごみ自家処理の普及を図る。
- ・生ごみ処理器利用者へのフォロー。
- ・生ごみの「水切り」推奨。
- ・食品ロス削減に取り組む。



5 キー口の普及

電気等を使わず土の中のバクテリアで、生ごみを分解するキー口を市民に対してPRする。



バクテリアdeキー口



6 資源ごみの分別

資源ごみを分別して出しやすいよう、正しくリサイクルされていることが分かるチラシ等でPRする。

生ごみの削減について

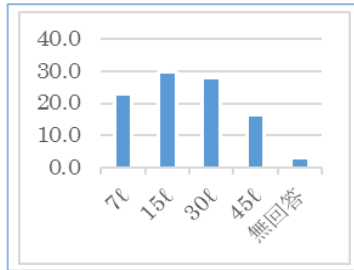
多く使われている指定ごみ袋のサイズ

全体では15ℓ、4人世帯では30ℓの指定ごみ袋でした。

「ごみ減量化に向けて」アンケート集計結果(平成28年9月実施分)
《質問》主に何リットルの指定袋を使っていますか。

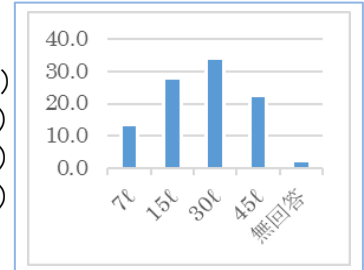
(全体)

① 7ℓ	269(22.8%)
② 15ℓ	353(29.9%)
③ 30ℓ	328(27.8%)
④ 45ℓ	194(16.4%)
⑤無回答	37(3.1%)



(4人世帯)


① 7ℓ	28(13.4%)
② 15ℓ	58(27.8%)
③ 30ℓ	71(34.0%)
④ 45ℓ	47(22.5%)
⑤無回答	5(2.4%)



生ごみを減らす取り組み

①生ごみ処理器による処理 《生ごみ処理器の一例》 ※補助制度があります。


機械式



特徴

- ◆毎月電気代がかかる。
- ◆乾燥させるタイプの場合、臭いや虫が発生しない。
- ◆処理物を有機質肥料として使えるものもある。


コンポスト



特徴

- ◆庭などにスペースがあれば経費も安く管理も簡単だが、臭いや虫の発生がある。
- ◆数か月おくと堆肥化される。

キエーロ



特徴

- ◆特別な菌や電気代等が不要で特別な維持費がかからない。
- ◆土の中のバクテリアが生ごみを分解するので、土の量が増えない。
- ◆臭いや虫の発生が少ない。

②エコクッキング



食物やエネルギーを無駄にせず、水を汚さないよう工夫したり、ごみを減らしたりして、環境に配慮しながら料理をつくること。

- 必要な量だけを買う、包装を断わってごみを少なくするような買物を心がける。
- 旬のものを買う、皮や葉・残り物なども利用して料理を作る。
- 食器や調理器具を洗う際には汚れをふき取るなどして水を汚さないようにする。
- 米のとぎ汁は流しに捨てずに植木の肥料として利用する。

などの取り組みです。

生ごみ処理器「キエーロ」

神奈川県葉山町のキエーロ葉山さんが考案した生ごみ処理器です。

- 土の中のバクテリアを利用して生ごみを分解します。
- 特別な菌や電気代等が不要で特別な維持費がかかりません。

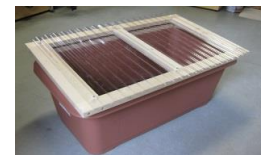
バクテリアdeキエーロ
※地面に直置きタイプ
〔底なし〕



ベランダdeキエーロ
※ベランダに置ける
〔底あり〕



プランターdeキエーロ
※プランターを利用した簡易タイプ
※生駒市で製作講座を実施しています。

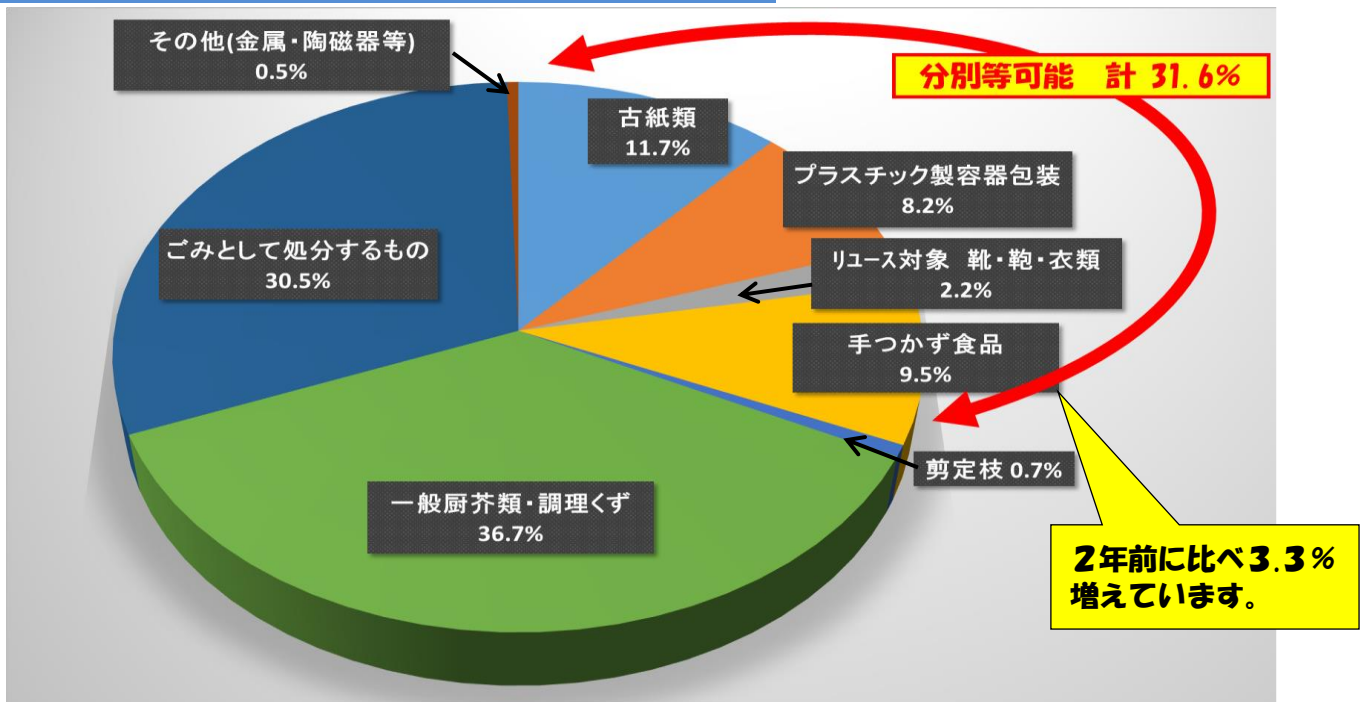


生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！ No.4号

平成30年5月版

ごみ削減にご協力いただきありがとうございます。

ごみ組成調査実施結果(平成30年3月実施)



現時点での分別等によってごみ減量可能なものを集計すると**31.6%**になります。

「古紙類」

「プラスチック製容器包装」

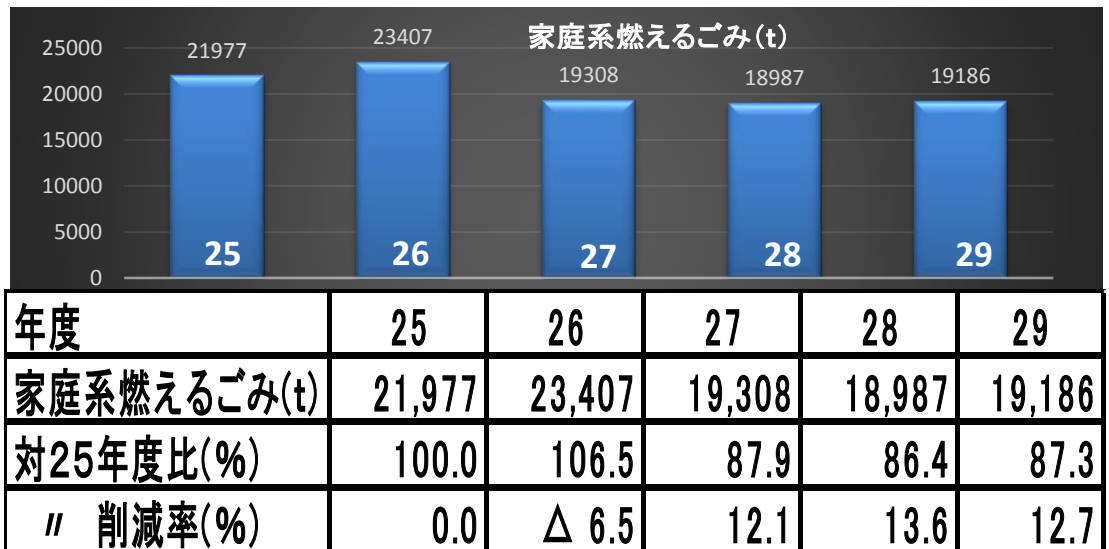
「リュース対象 靴・靴・衣服」

「手つかず食品」



目標達成状況

平成29年度は、皆様のご協力で、平成25年度比で**12.7%**削減されています。
ただし、平成28年度と比べて横ばい状態となっており、更なる削減をお願いします。



生ごみの削減について

食品ロスを減らす取り組み

①手つかず食品を減らす



手つかず食品とは、何も手を付けずに捨ててしまう食品のことです。

生駒市のごみ組成調査(平成30年3月実施)で手つかず食品は**9.5%**ありました。(左写真は、実際に出されたものです。)

- 安くても無駄なものを買わないようにしましょう。
- 定期的に冷蔵庫の整理をしましょう。

②フードドライブ



フードドライブとは、ご家庭で余っている食品を持ち寄り、それを必要としている福祉団体などへ寄付をする活動のことです。

日本は高い食料輸入率と低い食料自給率であるにもかかわらず、食品廃棄率や1人当たりの廃棄量は共に世界1と言われ、食品廃棄が問題になっています。

生駒市では、イベント等でフードドライブを実施しています。

▼持ち込める食品

- ①常温で保存できるもの
- ②未開封のもの
- ③賞味期限まで1ヶ月以上あるもの

③エコクッキング



エコクッキングとは、食物やエネルギーを無駄にせず、水を汚さないよう工夫したり、ごみを減らしたりして、環境に配慮しながら料理をつくることです。

- 旬のものを買う、皮や葉・残り物なども利用して料理を作りましょう。
- 料理は、食べる分だけ作り残らないようにしましょう。
- 食器や調理器具を洗う際には汚れをふき取るなどして水を汚さないようにしましょう。
- 米のとぎ汁は流しに捨てずに植木の肥料として利用しましょう。

生ごみ処理器「キエーロ」モニター募集

プランターdeキエーロ



「キエーロ」モニターを募集中

【モニター参加条件】

- 生駒市内に居住している方
 - 1年間プランターdeキエーロを使ってアンケートにご協力いただける方
- 【参加費 500円】

生ごみ処理器「キエーロ」は、神奈川県葉山町のキエーロ葉山さんが考案した生ごみ処理器です。

- 土の中のバクテリアを利用して生ごみを分解します。
- 特別な菌や電気代等が不要で特別な維持費がかかりません。
- バクテリアdeキエーロ、ペランダdeキエーロは、補助制度があります。

生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！ No.5号

平成30年7月版

食品ロスを減らしましょう

ごみ減量市民会議は、6月24日(日)に北コミで開催された環境フェスティバルでシールアンケートを実施しました。

アンケート結果 回答者900名



フードドライブを市が行っていることを知ってる人 47%

エコクッキングに心掛けている人 71%

「キエーロ」を知ってる人 56%

キエーロにも関心が高く、モニターに20名応募していただきました。

ご協力ありがとうございました。

冷蔵庫の中をチェックしていますか？

チェックしていない。 5%

消費期限をチェックしている。 51.8%

消費期限の他、傷み具合もチェックしている。 43.2%



週1回は冷蔵庫のチェックを！

毎週木曜日9時～12時にたけまるホール調理室前でフードドライブを実施しています。

壱分町東自治会懇談会を開催しました。



日時 平成30年6月15日(金)18:30~19:40

場所 壱分東公民館

参加者 44名

(自治会員34名・市民会議メンバー・行政・事業者10名)

懇談内容

○「燃えるごみ減量に向けて」説明(パワーポイント)

○シールアンケート

○懇談会内容

・大人数では細かな話しができないので、4グループに分かれての懇談をしました。

・懇談会では自治会からお茶やお菓子を出していただき、リラックスしていただいたことや、小グループに分かれたことで各グループとも活発な意見が出て、盛り上がり、懇談が終わるのが惜まれるような懇談会になりました。

・お子さんの参加もあり、世代を超えた交流ができました。

・参加者の方からごみの分別や生ごみ削減に関する疑問や意見が出されました。

**ごみ減量市民会議では、自治会とのごみ減量に向けた懇談会を実施しています。
あなたのお住まいの自治会でもごみ減量市民会議との懇談会を開催しませんか。
7月は、鹿ノ台・谷田町自治会で実施します。**

生ごみ処理器「キエーロ」製作講座を実施しました。



6/30(土)北コミュニティーセンターISTAはばたきにおいて、プランターdeキエーロの製作講座を開催しました。

当日は公募に応募した市民20名が参加され、いこまハート工房の皆様の指導で各自一台製作しました。

初めて工具を使われる方もいましたが、全員無事組み立てをすることが出来ました。

組立完成した後、ごみ減量市民会議のメンバーが上手に使う方法やキエーロの特徴などについて説明を行いました。

キエーロを使いごみ減量につなげていただきたいと思います。

1年後に受講者にアンケートを実施する予定です。

受講者 20名(男性 9名 女性 11名)

参加費 500円

フードドライブの開催案内

(自治会懇談会、イベント等での啓発用チラシ)

食べずに捨てられる“食品ロス”をなくすため フードドライブを

開催します

受付
場所

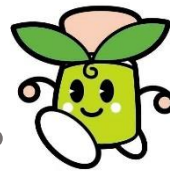
祝日・年末年始除く

毎週木曜日

午前9時00分～午前12時00分

1階調理室前（たけまるホール内）

フードドライブとは



ご家庭で余っている食品を持ち寄って、それを必要としている福祉施設や団体へ寄付、市の主催する福祉事業などで利用させていただきます。

持ち寄っていただく食品は

- ①常温で保存できるもの
- ②未開封のもの
(へコミや傷はOKですが、外装の破れ等はお遠慮ください)
- ③賞味期限までに1ヶ月以上あるもの
(賞味期限が明記されていないものは受付できません)

寄付していただきたい食品

- ・お米（白米・玄米・アルファーマイ）
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・缶詰・レトルト食品、カップ麺
- ・のり・お茶漬け・ふりかけ
- ・調味料（醤油、食用油、味噌など）
- ・菓子類・飲料（アルコールは不可）



生駒市 環境保全課

問合せ先 0743-74-1111

(内線353)

食品ロス削減啓発チラシ

(自治会懇談会、イベント等での啓発用チラシ)

今日から始めよう！ 食品ロス削減

ごみ削減にご協力いただきありがとうございます。

『食品ロス』ってなに？

「食品ロス」とは、
賞味期限切れや
食べ残しなどで、
まだ食べられるのに
捨てられる食べ物の
ことです。



「食品ロス」は日本で年間
646万トン※
1人あたり1日
お茶碗約**1杯分**に相当

※農林水産省及び環境省「平成27年度推計」



◀実際に家庭で廃棄された手つかず食品
燃えるごみの**9.5%**
(平成30年3月実施の生駒市ごみ組成調査より)

消費期限と賞味期限の違いを理解して「食品ロス」を減らそう

	消費期限	賞味期限
意味	期限を過ぎたら食べないほうがよい期限	おいしく食べることが出来る期限
表示	年月日(必要に応じて時間)で表示	3ヶ月を超えると年月で表示 3ヶ月以内は年月日で表示
対象	傷みやすい食品 弁当・サンドイッチ・惣菜・ケーキなど	傷みにくい食品 卵・牛乳・ハム・ソーセージ・缶詰・レトルト食品・カップ麺など

「食品ロス」を減らすために、 できることから始めよう



買い物で実践しよう！

✓ 買い物は必要な分だけ買きましょう

冷蔵庫や食品棚などをチェックして、
必要なものをメモをして出かけましょう。
また、個売りや少量パック食品を活用して、
目的に応じた量を買きましょう。



家庭で実践しよう！

✓ 食材を上手に使いきりましょう

旬の食材は皮ごと調理するなど、
食材を丸ごと使い切るよう心掛けましょう。
また、余った料理はほかの料理に作り替えるなど、
献立や調理方法を工夫しましょう。

つくってくれた人への
感謝の気持ちも忘れずに



外食で実践しよう！

✓ 食べきれる量のメニューを選びましょう

ハーフサイズ、少量コースなど、
自分にちょうど良い料理の量をチョイスしましょう。

✓ お店の人に食べられないものを事前に伝えましょう

セットメニューやコース料理の中に食べられないものがあれば、注文するときに、
それを抜いてもらうようお願いしましょう。

広報いこまち掲載内容
(2019年5月合併号)

プラスチック製容器包装の分別についての案内

これって

プラスチック製容器包装ごみ？

分別のよくある Q & A



洗剤容器がプラスチック製容器包装ごみ(プラごみ)に出していいかわからず、燃えるごみとして出してしまった経験はありませんか。市民の皆さんから多く寄せられたプラごみの分別の疑問に答えます。

圃環境保全課(内線355)

Q 食品用ラップはプラごみですか？

A 燃えるごみとして出してください

「プラごみ」は卵のパックやペットボトルのラベルなど、「商品の容器か包装のいずれか」と法律で決まっています。食品用ラップは、そのどちらにも該当しないため燃えるごみです。「プラスチック製品だからプラごみ」という分別は誤りですので注意してください。

■プラごみと間違いやすいプラスチック製品

以下の物は全て燃えるごみです。

◇台所用品



保存容器



調理器具



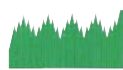
プラコップ



フリーザーパック



食品用ラップ



バラン



スプーン・フォーク

◇生活用品他



文房具



歯ブラシ



おもちゃ



ハンガー

クリーニングのビニール

Q 汚れはどこまで落とせばいいの？

A 品ごとに異なりますが、洗わなくてもいいものもあります

プラごみはひどい油汚れや強い臭いが付着したままだと、商品の原料にリサイクルできないため、燃えるごみです。しかし、実は洗剤を使って完全に汚れを落とし切らなくても出せるプラごみもあります。

■プラごみとして出すための処理

◇油・シャンプーボトル・洗剤容器

- ①蓋をあげたまま逆さにして一晩おく
- ②蓋を開けて口を下に向けても液が垂れてこないことを確認する
- ③口の部分を軽く拭きとって、プラごみに出す



中身が垂れてこない

◇魚や肉のトレー

- ①流水でささっと流す
- ②水気を取り、乾かしてプラごみに出す



■洗っても汚れがとれにくいものは燃えるごみに



納豆のパック

レトルトカレーの袋

調味料のチューブ

今回の質問は「ごみ減量市民会議」が市民からよく聞く声を紹介しました

「ごみ減量市民会議」は、市民の皆さんと事業者、市で構成される団体。ごみ減量に向けて自治会の集会で分別の疑問に答えたり意見を出し合ったりしています。また、子どもたちには食品のたいせつさを教える授業を実施。市全域で啓発を実践しています。



間違えやすいごみの分別を自治会に紹介